

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	DREAM SHIFT		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

**テストボール：ドリーム・シフト**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4 インチ

番

研磨剤

**比較対照ボール：ギア・トリプルエス**

フレアーの幅  インチ

表面加工

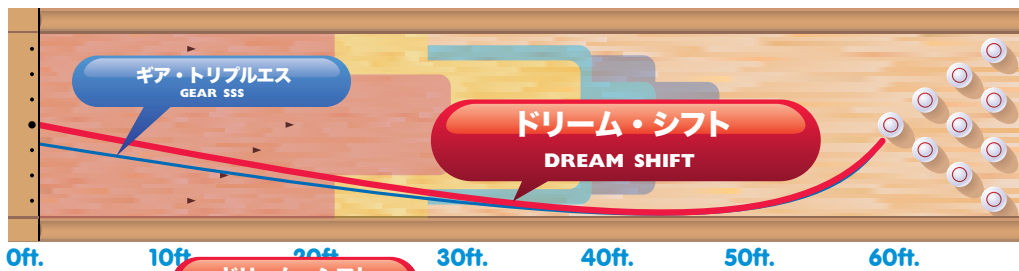
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

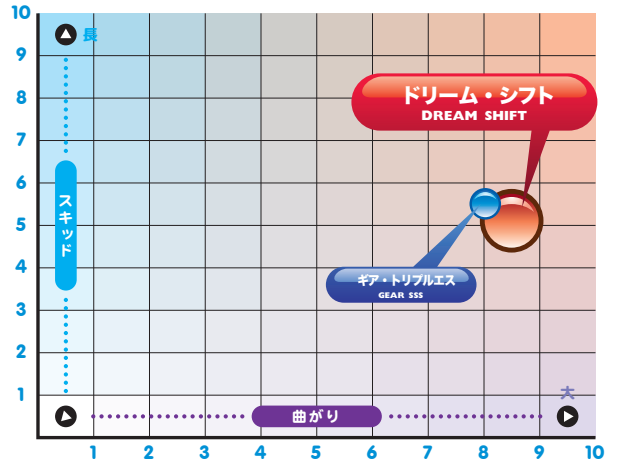
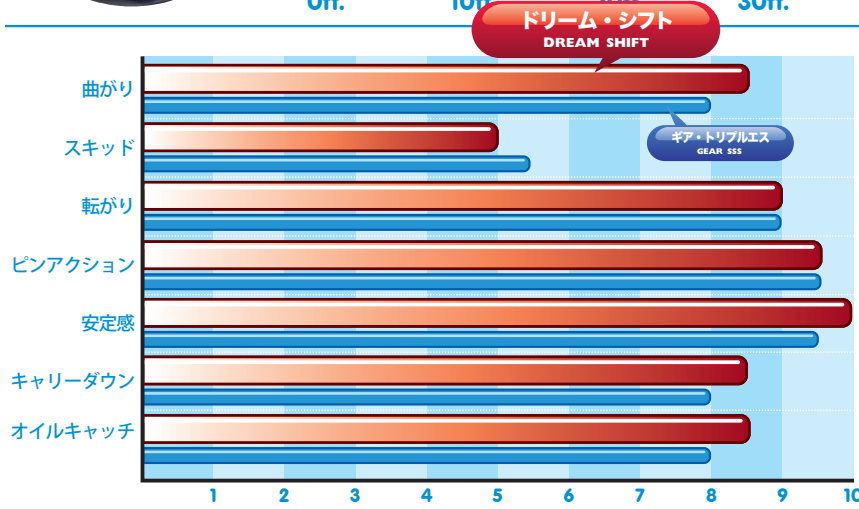
4 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

900 グローバルではアイデンティティ アシンメトリック コアを使い、2通りのブランド展開をしています。ドリームとギアがそれに相当し、ドリームはS74カバーストックからS79カバーストックまでを採用し、コンティニューアス(連続性のある動き)からシャープな動きまでをドリームに求めました。ギアはシャープな動きに特化し、S74カバーストックを軸にしています。

今回発売するドリーム シフトは、ドリーム オンと同スペックとなりますが、新開発75M ハイブリッドを採用し、添加物と配合比を変えることでドリーム オンの動きを継承しながら走り感を重視したスペックになっています。

ドリームの印象はアイデンティティ アシンメトリック コアの転がりの良さが第一印象として目に付きます。カバーストックの強さで曲がりはじめのイメージも違ってきますが、リリースされた瞬間からの転がりの良さがドリームの特徴とも言えるでしょう。

ドリーム オンよりは曲がり始めは先へ行きますが、ドリーム特有のMidエリアの曲がりはじめの安定感とピンヒットまで転がり続けて軸移動する独特なイメージはそのまま継承され、トータルバランスの高さはドリームシリーズに恥じない出来だと思えます。

個人的には、同じハイブリッドでもドリーム オンはソリッドよりのイメージがあり、ドリーム シフトはパールよりのイメージに感じます。歴代ドリームは利便性に優れ、的確にコンディションを読み取ることができ、極端に曲がりのイメージを変えずにラインを攻めることができます。このようなボールは信頼性が高くなって使用率も自ずとあがり、男女問わず多くのボウラーに受け入れられることでしょう。

### 特記事項

**転がりの良さと安定した軌道はドリームシリーズの生命線。扱いやすさと利便性はスコアメイクに欠かせない性能で、ボウラーのベンチマーク的性能と言えるでしょう。**